

平成 27 年（2015 年）6 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4 日目）

平成 27 年 6 月 29 日（月）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	上 原 快 佐 (社 大 党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 道路行政について 2 メディアリテラシー教育について 3 介護福祉行政について	(1) 真嘉比南公園交差点付近での事故発生件数の推移について伺う (2) 上記の事故発生件数を踏まえての本市の対策について伺う (1) メディアリテラシー教育についての本市の見解を伺う (2) 本市小中学校におけるメディアリテラシー教育の現状について伺う (3) メディアリテラシー教育における課題についての本市の見解を伺う (1) 介護保険制度改正の主なポイントについて伺う (2) 介護保険制度改正に伴う市民及び事業者への広報について伺う (3) 第 6 次なは高齢者プランにおける課題と取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 6 月 29 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	多和田 栄子 (社 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 認定こども園移行について 2 認可外保育園絵本支給事業について 3 牧志公設市場衣料部の空小間対策について 4 マイナンバー制度について 5 平和教育について 6 市営住宅建て替えに伴う土砂について	市立幼稚園の認定こども園に関する方針が示され、2016 年度には公私連携型認定子ども園に 2 園が移行するとのことである 公立幼稚園において、これまで 4 歳児受け入れの拡充、3 歳児受け入れの導入、給食導入等の整備を訴えてきた。このような幼稚園制度を充実させたいという前向きな要望を、認定子ども園ではどのように活かしていくのか伺う 平成 15 年度から認可外保育園に対する絵本支給事業が開始されている。事業の目的と成果について伺う (1) 牧志公設市場衣料部の果たしている役割について (2) 牧志公設市場衣料部の空小間が多くみられる。その実態と対応について伺う 2018 年度から段階的に拡大運用を進めるマイナンバー制度について、職員への教育・研修は現在、どのように進められているのか、伺う 戦後 70 年、今年も「慰霊の日」を迎え、平和宣言が発信された。各学校において、平和教育については、カリキュラムの中でどのように位置づけ、指導されてきたのか伺う 現在工事中の石嶺市営住宅建て替えに伴い、26 号棟の跡地に、工事により発生した土砂が仮置きされている。近隣住民から、土砂置き場からの粉じんや降雨による土砂の流出等を心配する声がある。今後の対応について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成26年6月29日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 胃がん予防 対策について	(1) 胃がんの原因とされるピロリ菌の除菌が 2013 年 2 月に保険適用拡大され、2 年が経 過した。これまで本市において、どのように 周知が図られてきたのか伺う (2) 採血による血液検査で胃がんにかかるリ スク(危険度)を 4 段階で判定する胃がんリ スク検診(通称 A B C 検診)を健康検査に導 入する自治体が広がっている。本市は、この 検診の有効性をどのように認識しているか 伺う。また、本市での導入をどのように考え ているか伺う
		2 ひとり親家 庭支援につい て	(1) 母子及び父子家庭自立支援給付金事業に ついて、今年度、県が単独の補助事業として 支給期間を延長する要綱を実施。それに伴い 本市でも増額補正予算が計上されている。改 めて本事業の内容と実績、評価を伺う (2) 厚生労働省が、今年の 4 月、ひとり親家庭 の支援の一環として、親の学び直しをサポート する事業を始めた。この新しい事業の内容 と本市の対応を伺う
		3 福祉行政に ついて	本市は平成 24 年度より、生活保護世帯を対象 にした権利擁護事業として金銭管理支援事業を 行っている。以下伺う (1) 本市の生活保護世帯数及び保護人員 (2) 本事業の目的と支援対象者 (3) 事業内容と現在までの実績の状況

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	若狭 3 丁目の夫婦瀬公園近くの潮渡川に架かる 2 つの人道橋のうちの 1 つが、橋に昇る小階段に手すりがないため、地域の高齢者から昇りにくいとの声がある。本市の対応を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 6 月 29 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 浜 安 史 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 小中連携の英語教育について 2 やる気元気「旗頭フェスタ」について 3 環境行政について 4 大名児童館について	英語教育のレベル向上の取り組みとして、県内では浦添市・宜野湾市が中学１年生から３年生まで全生徒を対象に英検テストの受験料の半額を補助していると聞いている。本市においても、英語教育の学力向上のための事業を実施する考えはないか伺う 昨年は、那覇新都心公園の多目的広場で開催され、小中学校 42 校の児童生徒が参加する中、天候にも恵まれ大盛況であった。保護者や関係者をはじめ、大勢の市民の前で披露できた喜びと達成感児童生徒に多くの教育効果をもたらしたと思う 今年は、那覇新都心の多目的広場が、整備中とのことで、開催は厳しいと聞いている。そこで、沖縄セルラースタジアムで開催をしてほしいとの声があるが、当局の見解を伺う 奥武山公園内にある「はいさい鉱山」において、平成 26 年度に沖縄県が実施した試掘調査により天然ガスと温水が採取されているが、その利活用について伺う 大名児童館は、地域のコミュニティー拠点として地域の方々や自治会、多くの利用団体等に活用されている。築 23 年が経過し、台風や集中豪雨の際には雨漏りが多く、地域の方々や利用団体等からも補修をして欲しいとの多くの声があるが、その対応について伺う

一般質問（４日目） 平成 27 年 6 月 29 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 道路行政について	(1) 石嶺駅前線の事業計画及び進捗状況について伺う (2) 大名 1 号は、大名小学校の通学路として利用されているが、急な坂道なので通称「地獄坂」と子供たちから言われている。大人が歩いてもきつい勾配であり、道路の亀裂などもあり、危険な状況なので早急な道路整備が必要と思うが、当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 6 月 29 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	山城 誠 司 (新 風 会)	1 下水道整備について	首里大中町の下水道整備予算・進捗状況及び整備後の効果について伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 道路美化について	市内道路の雑草が生い茂っている。観光都市として早急に対応すべきである 現状への対策はどうなっているのか。また、今後の対応について伺う
		3 医療行政について	(1) 国民の 2 人に 1 人が、がんになる時代である。本市でのがん死亡率はどれくらいか。また、がん患者への本市の取り組みについて、伺う (2) 最先端のがん治療法「BNCT(ホウ素性中性子捕捉治療)」の本市への導入を提案する。見解を伺う
		4 安心・安全なマチグリーン地区実証実験事業について	(1) 公共駐輪場の整備検討が必要とされているが、その進捗状況を伺う (2) 安心・安全な二輪車利用促進に関する条例制定に向けた実証実験の実施検討が必要とされているが、取り組み状況について伺う (3) 民間事業者による二輪駐車場運営は困難であるため、整備・運営の助成等の行政支援を検討するとあるが、対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 6 月 29 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	宮 平 のり子 (社 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 はり・きゅう・あん摩・マッサージ補助について 2 男女混合名簿について 3 那覇市における女性が抱える相談等、相談窓口、相談員について	はり・きゅう・あん摩・マッサージ補助事業が、27 年度事業に実施されず、一般社団法人沖縄県はり・きゅう・マッサージ師会からの陳情に続いて、事業の継続を求める利用者の署名が市長あてに提出されたところである。事業実施に向けての対応を伺う (1) 学校の名簿を混合名簿にするのは何が目的か (2) 混合名簿は生徒にとってどんな点がよいのか (3) 混合名簿は先生にとってはどんな点がよいのか (4) 県教育委員会教育長から各市町村教育長あてに「男女混合名簿導入の推奨について」と依頼文書が届いた後、どのような対応をしていくのか 一人当たりの県民所得、高校進学率、大学進学率は全国最低。完全失業率、離婚率、母子世帯の割合、新規の高校・大学卒業者の無業者比率全国一となっている。児童虐待、ネグレクト、ドメスティック・ヴァイオレンス、相対的貧困率全国ワーストと言われている。このような県の社会背景において、市町村における相談は貴重なライフラインである (1) 女性の抱える課題として、DV、育児、貧困、売春等の悩みを受ける相談員について、どのような体制で対応しているか (2) 那覇市として、何名体制で実績はどの位あるか (3) 類似の相談機関（ているる電話相談等）があるが、那覇市の特徴的な内容は何か 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 6 月 29 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	清 水 磨 男 (なは民主) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 子育てについて	(1) 公立幼稚園の認定子ども園移行に伴う給食の完全実施について、計画と課題を伺う (2) 安倍政権の経済政策により実質賃金は 24 カ月連続でマイナスを記録しているが、円安誘導の学校給食への影響を伺う (3) 久茂地地域への児童館機能の計画について伺う (4) 那覇空港への保育所設置は可能であるのか伺う (5) パーキングパーミットに妊婦も含むべきだと考えるが、那覇市の対応を伺う
		2 地方創生について	総合戦略の策定について伺う
		3 市街地活性化について	(1) 旧久茂地小学校前、一銀通りの信号と横断歩道が撤去された理由について伺う (2) 新都心の公園改修が終われば、F C琉球の練習場として提携できないのか伺う (3) 新市民会館での格闘技イベント対応について伺う (4) カラーランやウォーターラン、街中のウォータースライダーなど、街を活用したイベントについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長